

## III 調査結果のあらまし

### 第 48 回市政に関する世論調査の結果

#### 1. 宇都宮市に対する感じ方について

##### (1) 宇都宮市の好き・嫌い

「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた【好き（計）】は9割強であった。

##### (2) 好きな理由

宇都宮市の好きだと思ふところについては、「自然災害の少なさ」が5割半ばで最も高く、次いで「買い物など日常生活の便利さ」、「自然環境の豊かさ」、「慣れ親しんだところ」と続いている。

##### (3) 嫌いな理由

宇都宮市の嫌いだと思ふところについては、「交通マナーの悪さ」が4割弱で最も高く、次いで、「街に活気がないところ」、「交通渋滞の多さ」、「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」と続いている。

#### 2. 広報媒体の活用状況について

##### (1) 「広報うつのみや」の入手方法

「広報うつのみや」の入手方法については、「新聞折込で自宅に届いている」が7割半ばで最も高く、「手に入れていない」は1割半ばであった。

##### (1-1) 「広報うつのみや」で読んでいる記事

「広報うつのみや」で主に読んでいる記事については、「健康・福祉・保険・年金」が4割半ばで最も高く、次いで「暮らし・住まい・環境・安全・交通」、「各施設の催し物（宇都宮美術館、市文化会館、ろまんちっく村、図書館など）」、「情報カレンダー（市のイベントカレンダー）」、「特集（市の重点事業）」、「文化・教養・スポーツ」と続いている。

##### (1-2) アプリを利用した動画視聴状況

アプリをダウンロードし、AR（拡張現実）で動画視聴をしたことがあるかについては、「利用したことはない」が9割半ばであった。

##### (2) 市政情報の各広報媒体の視聴状況

「広報うつのみや」以外の12種類の広報媒体については、「よく見る（聞く）」と「ときどき見る（聞く）」を合わせた【見る（聞く）ことがある（計）】は「暮らしの便利帳」が3割強で最も高く、次いで「インターネット（宇都宮市ホームページ）」であった。

##### (3) ホームページを見るための主な手段

ホームページを見るための主な手段については、「パソコン」が6割強で最も高く、次いで「スマートフォン」であった。

### (3-1) ホームページで知りたい情報はどこから探すか

ホームページで知りたい情報をトップ画面のどこから探すかについては、「大分類（暮らし・教育文化・観光イベント・事業者・市政）」が4割半ばと最も高く、次いで「生活シーンから探す（引越し・出産・子育て・ごみなど）」と「分野別で探す（暮らし・税金・福祉など）」が約3割であった。

### (3-2) ホームページで知りたい情報は探しやすいか

ホームページで知りたい情報は探しやすいかについては、「探しやすい」と「どちらかといえば探しやすい」を合わせた【探しやすい（計）】は7割弱であった。

### (3-3) ホームページで充実してほしい情報や機能

- スマートフォンで見やすい画面
- AR動画の充実 等

## 3. 男女共同参画について

### (1) 「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の認知度

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度については、「言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない」が4割弱で、次いで「言葉も内容も知らない」、「言葉も内容も知っている」と続いている。

### (2) 生活の中で何を優先するか

生活の中で何を優先するかについての【理想】では『仕事』と『家庭生活』と『個人・地域の生活』のすべてを優先」と『家庭生活』を優先」が約2割、【現実】では『仕事』を優先」が約3割で最も多かった。

### (3) 配偶者等からの暴力を受けた経験

夫や妻、恋人から暴力を受けたことがあるかについては、「身体に対する暴力を受けた」、「社会的な暴力を受けた」、及び「性的な暴力を受けた」は「まったくない」が9割を超えた。「何度もあった」と「1、2度あった」を合わせた【あった】は、「精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた」が1割弱で最も多かった。

### (3-1) 暴力を受けたときに誰かに相談したか

暴力を受けたときに誰かに相談したかについては、「相談しなかった」が6割であった。

## 4. 住宅用火災警報器について

### (1) 「住宅用火災警報器」設置義務の認知度

全ての住宅等に「住宅用火災警報器」の設置が義務づけられたことを知っているかについては、「知っている」が9割弱で最も高く、「知らない」は1割強であった。

### (2) 「住宅用火災警報器または自動火災報知設備」の設置状況

現在、自宅に「住宅用火災警報器または自動火災報知設備」が設置されているかについては、「住宅用火災警報器」または「自動火災報知設備」が設置されているが合わせて7割弱であった。一方、「どちらも設置されていない」が約3割となっている。

### (2-1) 「住宅用火災警報器等」を設置していない理由

「住宅用火災警報器等」を設置していない理由については、「どのくらい効果があるのかわからない」が1割強で、次いで「住宅用火災警報器の購入場所がわからない」であった。

## (2-2) 「住宅用火災警報器等」の点検等実施状況

「住宅用火災警報器等」の点検等を実施しているかについては、「していない」が5割弱で、「布で拭くなどにより、定期的に清掃している」、「ひもを引くまたはボタンを押すなどして、定期的に作動点検をしている」がそれぞれ2割弱であった。

## 5. 市議会の広報紙について

### (1) 「あなたと市議会」の認知度と閲読状況

議会広報紙「あなたと市議会」を知っているか、また、読んだことはあるかについては、「知っており、たまに読んでいる」が4割半ばで、次いで「見たことはあるが、読んだことはない」が2割強であった。

### (2) 「あなたと市議会」の中でよく読む記事、必要だと思う記事

議会広報紙「あなたと市議会」の中でよく読む記事、必要だと思う記事については、「一般質問（定例会での議員の質問）の内容と市の答弁」が約5割で、次いで「市民からの意見」、「予算や決算の審査状況」、「議案の審議結果（会派や個人の賛否）」、「請願・陳情（市や国の仕事についての市民からの意見）のしかた」と続いている。

### (3) 市議会情報の各媒体の利用状況

議会広報紙「あなたと市議会」以外の7つの媒体について、知っているものや利用したことがあるもの、今後利用してみたいと思うものについては、「市議会ホームページ」が3割弱で、次いで「とちぎテレビでの議会日程などのデータ放送」、「各地区市民センター・地域自治センターでの議会日程の掲示」と続いている。

## 6. 市政情報コールセンターと「よくある質問」について

### (1) コールセンターの認知度

コールセンターがあることを知っているかについては、「知らない」が8割半ばであった。

### (2) コールセンターの利用状況

コールセンターを利用したこと（電話をかけたこと）があるかについては、ほとんどの人が「利用したことはない」と答えている。

### (3) ホームページの「よくある質問」検索システムの認知度

ホームページに「よくある質問」の検索システムがあることを知っているかについては、「知らない」が8割強であった。

### (4) ホームページの「よくある質問」の利用状況

ホームページの「よくある質問」を利用した（調べた）ことがあるかについては、「利用したことはない」が9割半ばであった。

## 7. 上下水道局発行の広報紙「私たちのくらしと水」について

### (1) 「私たちのくらしと水」の閲読状況

「私たちのくらしと水」を読んだことはあるかについては、「たまに読んでいる」が4割弱で、次いで「ほとんど読んでいない」が約2割であった。

## 8. 将来的な水道事業のあり方について

### (1) 水道事業を運営していく上で重要な項目

今後水道事業を運営していく上で重要だと思う項目については、「安全な水の供給」が7割弱で、次いで「災害時も含めた水の安定供給」が約1割であった。

### (2) 水道施設の老朽化に伴う更新や耐震化についての取り組み方

水道施設の更新や耐震化についてどのように取り組むべきと考えるかについては、「適切な水道料金の中で計画的に取り組むべき」が約5割で、次いで「現在の水道料金に影響のない範囲で取り組むべき」が3割弱であった。

### (3) 水道水の供給が困難となった場合の給水対応

水道水の供給が困難となった場合、最低限どの程度の供給が必要と考えるかについては、「炊事やトイレに必要な水量（通常の50%程度供給）」が約6割で、次いで「日常生活に支障のない水量（通常の75%程度供給）」が約2割であった。

## 9. 宇都宮市の水道水について

### (1) 宇都宮市の水道水に対する感じ方

宇都宮市の水道水についてどのように感じるかについては、「ふつう」が4割強で、次いで「おいしい」が2割強であった。

#### (1-1) 水道水をおいしくないと感じる理由

水道水をおいしくないと感じる理由については、「塩素臭いから」が4割半ばで、次いで「味（苦味など）があるから」が約2割であった。

#### (1-2) 水道水をおいしくないと感じる頻度

水道水をおいしくないと感じる頻度については、「感じる（ほぼ毎日）」が4割半ばで、次いで「よく感じる（週1回程度）」、「まあまあ感じる（月数回程度）」がそれぞれ2割半ばであった。

## 10. 「生物多様性」について

### (1) 「生物多様性」の認知度

生物多様性という言葉を知っているかについては、「聞いたことはあるが意味は知らない」が4割半ばで、次いで「まったく知らない」が約3割であった。

## 1 1. 特殊詐欺について

### (1) 特殊詐欺を何から知ったか

特殊詐欺を何から知ったかについては、「テレビ」が9割半ばで、次いで「新聞」、「金融機関やATM機などに掲示されたポスター」と続いている。

### (2) 知っている特殊詐欺の手口

知っている特殊詐欺の手口については、「息子等のふりをして金銭を振り込ませる『オレオレ詐欺』」が10割弱で、「事実のない代金請求をする『架空請求詐欺』」が8割強であった。

### (3) 特殊詐欺に関してどのような連絡を受けたか

特殊詐欺に関して、どのような連絡を受けたことがあるかについては、「連絡を受けたことはない」が4割半ばで、次いで「電話」が3割弱であった。

#### (3-1) 連絡を受けた際どのように対応したか

特殊詐欺の連絡を受けた際、どのように対応したかについては、「怪しいと思い無視した」が約7割で、次いで「警察に相談した」が約1割であった。

### (4) 特殊詐欺被害を防止するために必要なこと

特殊詐欺の被害を防止するためには、どのようなことが特に必要であると思うかについては、「家族間等における話し合い」が約7割で、次いで「テレビ・新聞等による被害防止の呼びかけ」が約3割であった。

## 1 2. 栃木SCのホームゲームについて

### (1) 栃木SCに興味があるか

栃木SCに興味があるかについては、「興味がない」が約5割であった。

### (2) 栃木SCのホームゲーム観戦経験

栃木SCのホームゲームを観戦したことがあるかについては、「観戦したことがある」が1割強で、「観戦したことがない」が8割半ばであった。

### (3) 栃木SCのホームゲームにどのような魅力があれば行きたいと感じるか

栃木SCのホームゲームにどのような魅力があれば行きたいと感じるかについては、「試合の勝利」が3割半ばで、次いで「近隣駐車場の充実」、「観戦チケットの割引」と続いている。

### 1 3. 宇都宮市の景観について

#### (1) 宇都宮市の景観は10年前と比べてどうなったと感じるか

宇都宮市の景観は10年前と比べてどうなったと感じるかについては、「変わらない」が約4割で、次いで「どちらかというとなってきた」が続いている。

#### (2) 宇都宮市の景観上好ましくないと思うもの

宇都宮市において、景観上好ましくないと思うものは何かについては、「空き店舗、空き家、老朽化した建物など」が7割弱で、次いで「空き缶やごみが捨てられている道路や河川」が4割強であった。

#### (3) 景観について取り組んでいる（又は取り組んでみたい）こと

景観について取り組んでいる（又は取り組んでみたい）ことについては、「家のまわりの花や緑を増やすこと」が5割弱で、次いで「地域の公園やごみ置き場、道路などを清掃すること」が4割半ばと続いている。

### 1 4. 「家庭の日」について

#### (1) 「家庭の日」の認知度

「家庭の日」を知っているかについては「知っている」が4割強で、「知らない」が5割半ばであった。

#### (2) 「家庭の日」をどのように知ったか

「家庭の日」をどのような方法で知ったかについては、「広報紙」が7割強で、次いで「ポスター」が2割半ばであった。

### 1 5. 自転車のまちづくりについて

#### (1) 自転車の利用頻度

どのくらいの頻度で自転車を利用しているかについては、「ほぼ毎日」と「1週間に3～4回」、「1週間に1～2回」を合わせた【定期的に利用している（計）】が3割弱であり、「ほとんど利用しない」が約6割であった。

#### (2) 宇都宮市は自転車を使いやすいまちか

宇都宮市は自転車を使いやすいまちだと思えるかについては、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた【使いやすい（計）】が3割弱であり、「あまりそう思わない」と「そうは思わない」の合計は約6割であった。

#### (3) 自転車のまちづくりを進めていくために必要だと思う取り組み

自転車のまちづくりを進めていくために必要だと思う取り組みについては、「安全・安心に自転車を走行できる環境づくり」が約7割で、次いで「自転車の走行ルール・マナーの徹底」が6割半ばであった。